

「タイミングよく就農することが出来ました！！」

田中靖興 (38)・明子 (38) Uターン
(伊予市)



1 就農の動機・理由

幼少のころから両親の農作業を行っている姿をみたり、手伝いをしている中、将来は自分で農業を行いたいと感じており、社会人となり農業経営に取り組む時期を模索していた(靖興)。

結婚する時から将来の事は話し合いが出来ており、就農することに違和感もなくスムーズに取り組むことができました(明子)。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和元年)	現在の経営 (令和3年)	将来の経営 (令和6年)
労働力	男1人(本人) 女1人(妻)	男1人(本人) 女1人(妻)	男1人(本人) 女1人(妻)
経営耕地	水田 40 a	水田 40 a	水田 40 a
経営内容	きゅうり(露地) 3a 施設きゅうり 18 a 施設ナス 9 a スイートコーン 4 a	施設きゅうり 22 a 施設ナス 15 a スイートコーン 10 a	施設きゅうり 18 a 施設ナス 21 a スイートコーン 20 a

○農業用施設

APハウス 12連棟 3,400 m²
倉庫 48 m²

○主要農業機械

トラクター 23ps 1台
動力噴霧機 1台
管理機 1台
軽トラック 1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

(靖興)

出身地 愛媛県伊予市
職歴 会社員
就農年月 令和元年8月

(明子)

出身地 大阪府八尾市
職歴 主婦・パート
就農年月 令和元年8月

(2) 就農時の思い

会社員として他産業に従事する中、学校給食関係に携わり地産地消の必要性を感じ、子供たちに自分の作った野菜を食べさせたいと思っていた。

わが子が通う学校給食へ野菜の納入ができるようになり小さな幸せを感じている。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

子供のころからの手伝いと会社員の時も家業としての手伝いを行っており管理面での不安はなかった。現在病害虫に係る対策等の勉強をしており、経験の積み重ねと記録を大切にしている(靖興)。

結婚後家業の手伝いとして体験程度の取り組みが、現在の農作業に活かされている（明子）。

(2) 資金の準備

会社の退職金を当面の生活費や経営の必要経費として活用することができた。今後経営に必要な機械等は、各種補助事業や就農支援資金の活用を考えている。

(3) 農地・住宅の確保

数年前から地域の農業者や関係機関等に就農の意思、農地や施設の情報提供を依頼しており、情報収集により農地等を借り入れることができた。

(4) その他苦労したこと

借入れた施設のメンテナンスに係る時間と費用が想定外であり、その対応と農作業の遅れを取り戻すことに苦労した。

5 農業経営の特徴

経営的は、野菜の周年栽培に取り組んでいる。そのほか、施設内で夫婦それぞれの管理ほ場を分け、生産量を対決するなど遊び心も取り入れた経営を行っている。

6 これからの夢

農業は努力した分だけ自分に直接跳ね返ってくるため、やりがいのある職業であると思っている。今できることを精一杯努力し、経営面積拡大等に取り組み、将来的には法人経営を目指したいと思っている。

7 成功したキーポイント

現在の経営が成功しているとは思っていませんが、就農2年間目標とする収穫

量はほぼ達成している。これも夫婦で生産技術等を切磋琢磨しながら築き上げたものだと思っている。

8 就農を目指す方へのアドバイス

私たちの就農は、農地や施設の確保といった面で「タイミング」に恵まれたと思っています。農業を志して準備を進める中「決断」しなければならない時があります。そのタイミングを逃さないよう思い切った決断を行ってください。

○ 指導機関からのひとこと

ご夫婦で楽しく農業経営に取り組まれており、今後もその取り組みを継続して地域の見本となるような経営を目指して下さい。

執筆機関

中予地方局産業振興課地域農業育成室
伊予農業指導班
電話番号 089-982-0477



ナス移植作業中